

【金融庁】データ分析を通じた企業に対する金融面でのコロナ対応策の検討経費

事業の目的

新型コロナウイルス感染症が国内外の経済・金融動向に大きな影響を及ぼしている中、新型コロナウイルス感染症が企業の財務に与えている影響及びそれにより金融機関が抱えるリスクを評価し、金融機関へのモニタリング・対話を通じて、金融機関の健全性の確保及び企業支援等の実施を促す。

インプット

令和2年度
第2次補正予算
296百万円

アクティビティ

- ✓ 調査会社等から企業財務データ等および、当該データを処理するための高性能なワークステーションを購入し、業種・規模といった切り口から、新型コロナウイルス感染症発生前後における企業の資金調達や財務状況等の変化について実態把握を行う。

アウトプット (令和2年度活動実績)

- ✓ 企業の資金調達や財務状況等の変化について分析を行う。
- 【指標】
- 分析結果の公表（「金融仲介機能の発揮に向けたプログレスレポート」への掲載）
- ✓ 地方銀行及び信用金庫、信用組合と分析結果を活用した対話を行い、実態把握を深化。
- 【指標】
- 金融機関と対話を行った件数

アウトカム

こうした取組みを通じて、金融庁の分析能力を向上させ、以下の点を確保する。

- ✓ 金融機関による、新型コロナウイルス感染症拡大によって惹起されたリスクの適切な管理
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大によって影響を受けた企業に対する金融機関による適切な支援の促進
- 【現時点での着眼指標】
- 金融機関の自己資本比率の状況
 - 企業の債務収益比率の状況
 - 金融サービス利用者相談室における融資に関する相談等の受付件数

インパクト

- ✓ 金融システムの安定と金融仲介機能の発揮の両立